



解禁日 時	ラジオ テレビ インターネット	令和5年7月21日(金) 文化庁文化審議会終了後(17時)解禁
	新聞	令和5年7月22日(土) 朝刊

令和5年7月13日(木) 14時 文部科学省同時発表
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和5年7月13日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	記念物保護係	小野木 学	内線 3148
		小林 新平	直通 058-272-8759 FAX 058-278-2824
大垣市教育委員会 文化振興課	郷土歴史・文化 財活用グループ	高田 康成	直通 0584-47-7202
		田口 裕貴	FAX 0584-81-0715

史跡昼飯大塚古墳(大垣市)の追加指定について

文化庁の文化審議会(会長 佐藤 信 氏)は、7月21日(金)に開催される文化審議会において、国史跡の追加指定等を文部科学大臣に答申する予定です。今回の答申には大垣市に所在する「昼飯大塚古墳」の追加指定が挙がっています。

今回は史跡の追加指定(史跡指定地の拡大)であり、県内における国史跡の件数は28件で変更はありません。

記

国史跡の名称	追加指定の場所
ひるいとおつかこふん 昼飯大塚古墳	岐阜県大垣市ひるいちょう おおつか 大塚208番1 外2筆



空中写真(平成29年度撮影)



空中写真(平成29年度撮影)

昼飯大塚古墳の概要

- ・年代：古墳時代
- ・所有者：大垣市
- ・面積：15,193.85m²（内追加面積 1,112.14m²）
- ・概要

昼飯大塚古墳は大垣市北西部に所在する墳長150m、周壕も含めると約180mに及ぶ岐阜県最大規模の前方後円墳である。昭和54年度から平成23年度までに断続的に行われた調査結果から前方部・後円部とも三段築成を採用し、各段斜面には葺石、各平坦面には埴輪があったと判明した。埋葬施設（木棺直葬）からは刀剣や工具などが出土している。これらの出土品の中には朝鮮半島南部の影響を受けたと思われる意匠が確認できるものもある。以上のことから、昼飯大塚古墳は大首長墓であり古代の東海地方の政治や社会を考える上で重要な古墳であるとして平成12年9月に史跡指定、平成26年3月に追加指定を受けた。

今回の追加指定地は既指定地の北から北東にかけての3筆分である。これまでの調査から当該地には後円部墳丘の一部（1段目斜面、1段目面、2段目斜面）及び周壕が確認されている。当該地は既指定地と合わせて昼飯大塚古墳を構成する重要な要素（後円部墳丘及び周壕の一部）であることが認められ、追加指定に至った。